

シンボルマーク・コーポレートロゴのアウトライン

マックスの企業イメージを明確にし、目指す使命「In-store Solution Company」を中心とした情報伝達を計画的に行うために、最も重要なのが視覚イメージの統合（V.I.）です。企業イメージの伝達媒体である、印刷物や名刺、封筒、看板、Web等が一貫したデザインコンセプトに基づき、統合されることによって明確な企業イメージを確立することができます。V.I.の管理・運営の効果的推進のため本マニュアルをご活用ください。

●シンボルマークとコーポレートロゴ

マックスの企業活動は、店頭販促を通じて消費者に発見と好奇心を与え、商品の動きを活性化するきっかけを作り出すことです。この要素からイメージしたのは、停滞した状況に変革をもたらす“新風”。人々に何かが変わっていく予感をもたらすと同時に、具現化する力のある企業であることを、シンボルマークとコーポレートロゴで表現しました。



●社名ロゴ

株式会社 マックス

代用フォントの場合 「株式会社」→モリサワフォント・新ゴR・字間ベタ／大きさ比率100%に対して
「マックス」→ダイナフォント・ポップミックスW5／大きさ比率120%で縁取り1mm



●シンボルマークが持つ意味

社名およびmerchandisingの頭文字である“m”をベースに構成。現場を変える新風をモチーフに、左下から右上へと上昇する風の流れをイメージさせる形としました。

◇マークを形づくる3つのエレメントは「macs」「クライアント」「消費者」の関係を表現しています。

◇エレメントの幅と色の変化には、マックスの活動を基点に企業→消費者への影響の拡大と事業の成長・拡張の願いが込められています。

◇上昇線を描くエレメントの形状は多彩な手法を用い、店頭から社会全体へと影響力を広げるマックスの事業スタイル（セールスデザイン）をイメージしています。

◇シンボルマークに内包される“5つのS”は、macsの思いを表現した“S”でもあります。

①Sales：「売ること」に関する、②Surprising：常識にとられない、③Solution：ソリューションをデザインすることで、④Stakeholder：マックスと関わる人すべてに、⑤Success：幸せになってもらいたい。

●macs breeze green



●コーポレートカラーが持つ意味

調和・信頼・安心・客観性・社会性・モラル、このようなメッセージ性を持つ「グリーン」で、マックスの目指す企業像を意味づけ、さらに爽やかさやフットワークの軽さも示唆できるよう、明るさを備えたグリーン（DIC2561）をコーポレートカラーとして設定しました。この色は新緑の風をイメージしたマックスオリジナルカラーと考え、「macs breeze※green」と命名しました。

※breeze…そよ風

特色：DIC 2561 第2版（国内用）
PANTONE：347C（海外用）
プロセスカラー：C（シアン）100%+Y（イエロー）100%+K（ブラック）10%
WEB：#0A7E2F

シンボルマーク・コーポレートロゴの表示色

シンボルマーク及びコーポレートロゴは、白地の背景に表示するのが最も効果的で適しています。この組み合わせを基本表示色とします。制約などで基本表示色の使用が不可能な場合は、「シンボルマーク・コーポレートロゴの表示色と背景色の関係」を参考にしてください。

■特色基本表示色 (国内)



■プロセスカラー 基本表示色



■Webカラー 基本表示色



■特色基本表示色 (海外)



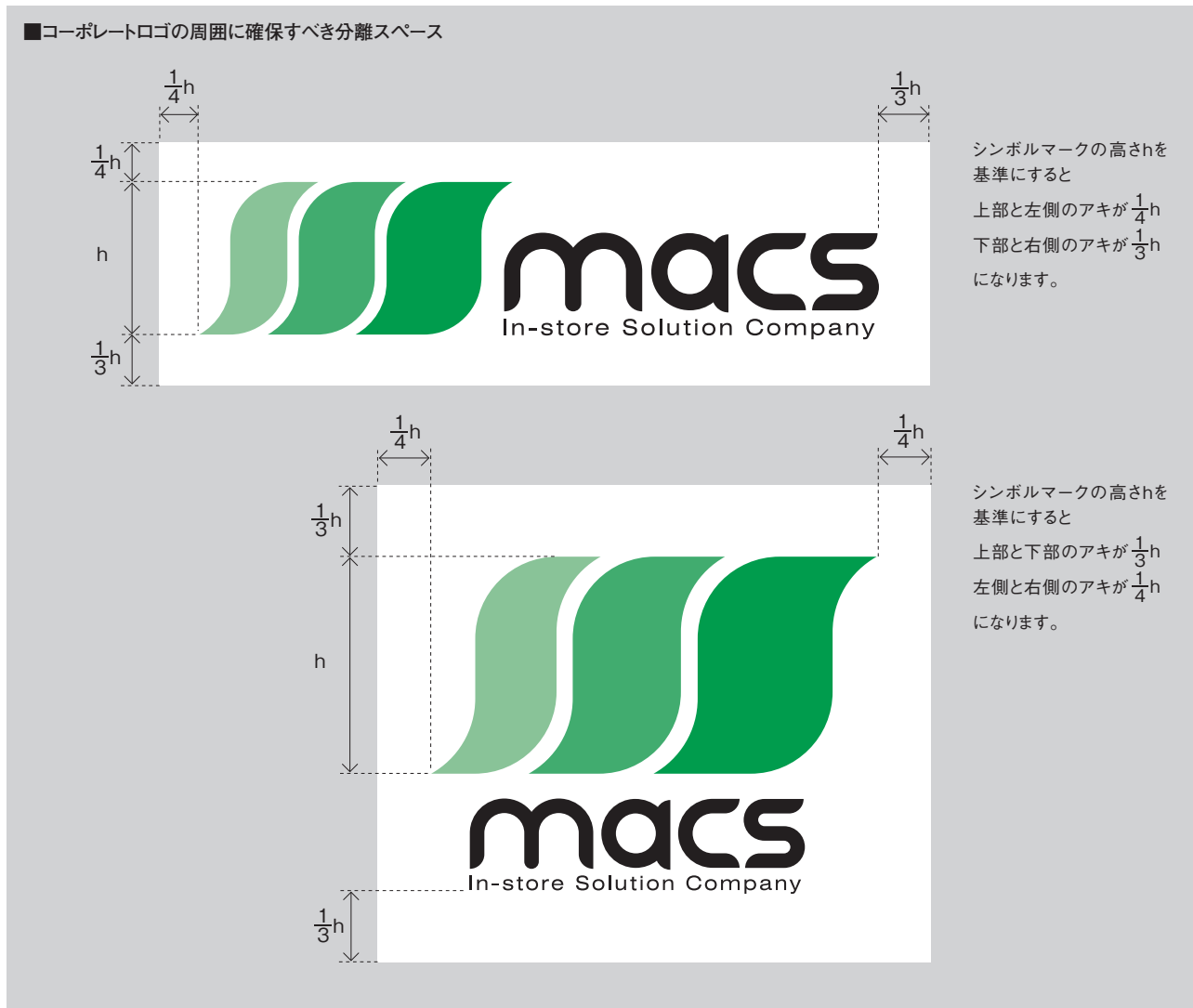
■1色表示の場合



シンボルマーク・コーポレートロゴの再生と表記

●コーポレートロゴのアイソレーション（他の要素との分離）

シンボルマーク・コーポレートロゴは、その周りに文字などの要素をなるべく、近づけずに表示したほうが効果的です。シンボルマーク・コーポレートロゴを表記する場合は、下図にしたがってマーク・ロゴの周囲に分離スペースを必ず確保し、文字等の要素が入らないようにしてください。



●コーポレートロゴの最小使用サイズ

シンボルマーク・コーポレートロゴを小さなサイズで使用すると、歪みやつぶれが生じてイメージを損なうおそれがあります。使用できるサイズを下記に規定します。

■印刷物で使用する場合



左右30mm以下では使用しないでください。



左右22mm以下では使用しないでください。

■Web上で使用する場合



「In-store Solution Company」がつぶれて認識できなくなってしまうので左右160pixels以下では使用しないでください。



「In-store Solution Company」がつぶれて認識できなくなってしまうので左右115pixels以下では使用しないでください。

シンボルマーク・コーポレートロゴの表示色と背景色との関係

ここでは、マックスの重要な企業資産であるシンボルマーク・コーポレートロゴの視認性、統一性をはかるためシンボルマーク及びコーポレートロゴの表示色と背景色との関係について明記します。

マニュアルの規定にしたがって、取り扱いに注意しながらロゴの運用を行ってください。

背景色	シンボルマークとコーポレートロゴを特色及びプロセスカラー基本表示色で表示した場合
0%	
10%	
20%	
30%	
40%	
50%	
60%	
70%	
80%	
90%	
100%	

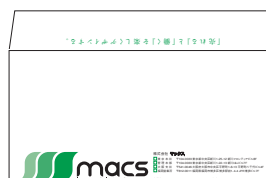
背景色	シンボルマークとコーポレートロゴを特色及びプロセスカラー基本表示色で表示し、背景色が基本表示色の場合
0%	
10%	
20%	
30%	
40%	
50%	
60%	
70%	
80%	
90%	
100%	

背景色	シンボルマークとコーポレートロゴを1色で表示した場合
0%	
10%	
20%	
30%	
40%	
50%	
60%	
70%	
80%	
90%	
100%	

■シンボルマーク・コーポレートロゴの基本的な表示位置

上方左端 に表示	上方右端 に表示	
天地左右中心よりやや上に表示		
下方左端 に表示	下方中心 に表示	下方右端 に表示

広告やパンフレット、Web(ホームページ)やプレスリリース、企画書等の「コミュニケーション・ツール」は、マックスを表現する重要なものです。それらに入る共通の要素である、シンボルマークやコーポレートロゴを注意深く取り扱うことによって、全体として統一性のとれた「コミュニケーション・ツール」ができ、マックスのブランドを効果的に表現し、ブランド力を高めることができます。



シンボルマーク・コーポレートロゴの使用禁止例

シンボルマーク・コーポレートロゴは、常に正しいかたちで使用してください。下記のような使い方はロゴの持つ個性や識別性を低下させるだけでなく、マックスの企業像が異なったイメージをつくることとなりますので、絶対に避けてください。
※色数の少ない素材を用いて、シンボルマーク・コーポレートロゴを表現しなければならない場合は、近い色を選んでロゴのイメージを損ねないようにしてください。

■形状の変形をしない（縦・横の比率を変えない、シンボルマークとコーポレートロゴの比率を変えない、傾けない）



■決められた色以外を使用しない



■背景コントロールを守る



■文章中はロゴを使用しない

~~macs~~は、常にお客様を第一に考え、行動します。それを積み重ねた結果から導き出された提案が ~~macs~~ の仕事

~~マックス~~は、常にお客様を第一に考え、行動します。それを積み重ねた結果から導き出された提案が ~~マックス~~ の仕事

■ロゴの二重表記はしない



※文章中にロゴを使用することは禁止されていますが、特例としてポスターや販促物等に止むを得ず、使用することが許された場合はロゴの二重表記はおやめください。